

『風と花』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

## 地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

### 「まちづくりは人づくり、地域の子供は地域で育てる」 地域教育「明日の風」 北都留地域教育推進連絡協議会 定期総会・教育講演会

○日時 6月26日(金)

○場所 大月市民会館

○定期総会

- ・昨年度の事業報告、会計報告、監査報告
- ・本年度の役員、事業計画・予算案についての承認

○活動発表

#### 『大月市郷土資料館の地域教育の実践』

発表者：大月市郷土資料館 館長 深澤 眞 氏

大月市郷土資料館は開館35年目を迎え、昨年度は学校や地域団体の見学や出前講座を30件実施。今後も「ふるさと教育」への支援や多世代交流を進めるほか、広報やSNSで運営情報を積極的に発信し、来館者の増加を目指します。

○講演会

#### 『援助者のためのメンタルケア』

講師 山梨県立大学人間福祉学部

准教授 山中 達也 氏

自身の豊富な経験をもとに、子どもを支えるには**援助者自身の心身の健康が重要**であり「援助実践はまず自分の状態を知ることから始まる」とし、自己理解の重要性を強調。また、「人は理解されたと感じた瞬間に変わろうとする」と述べ、気づきを支援につなげる大切さを熱く語りました。

・参加者の感想

「自分を大切にすることをまずしてから、次のステップ（伝える・聞く）に入ろうと思いました。」

「実体験を踏まえた心にしみる内容でした。」

「説得力のある話で、管理職として常に心に留めておきたい内容であった。」



総会の様子



地推協の事業についての意見交換



活動発表をいただいた 深澤 眞 先生



講演会講師 山中 達也 先生



ちょこっとワーク『じゃんけんテレパシー』  
で思わず笑顔に…

# 子供たちの教育は地域全体で担う!!

## 南都留地域教育推進連絡協議会

## 総会・講演会

## 開催

○日時 6月17日(水)

○場所 勝山ふれあいセンターさくやホール

○定期総会

- ・昨年度の事業報告、会計報告、監査報告
- ・本年度の役員、事業計画についての承認

○講演会

### 『休み方を変える不登校支援』

～地域・学校・家庭の連携～

講師 山梨大学教育学部やまなし小学校教育講座

准教授 田中 健史朗 氏

今の子どもの不登校増加の背景には、学習内容の高度化や学校生活の負担増もあるのではないかと。大人が子どもの努力を認め、子どもの自己肯定感を高める関わりが重要だ。不登校支援は再登校だけでなく社会的自立を目標に、対人交流や社会経験をする機会の確保が必要。子どもと一緒にテレビや動画を見たり、交換ノートによる『宝探し』をしたりなど、それぞれの立場でできる具体的な方法についての提言があり、大変学びが多い講演でした。

・参加者の感想

「わかりやすく興味深い話で、ヒントをたくさんいただきました。」「人との関わりや会話が楽しいと感じられる環境をつくっていききたい。」「先生のゆとりが子どものゆとりを生むということを学校経営に生かしていきたい。」「



総会の様子



総会出席者から貴重なご意見を頂きました



講演会講師 田中 健史朗 先生



講演会の様子



田中先生の話に引き込まれる参加者



質疑応答も積極的に行われました！

## 各種 連携会議 ～子供の教育は「縦」と「横」の連携から～

### 1 未来を拓く！高校生インターンシップ推進事業 地域連絡会議

○日時 5月19日(火)

○場所 山梨県総合教育センター

県労働局やハローワーク、教育関係者、高校の進路指導担当者らが参加し、開催されました。全体会では、令和7年度 of 取組状況や令和8年度の事業計画、県内の就職動向、就職支援サイト「やまナビ！」について説明が行われました。

富士東部地区の地域連絡会議では、各校のインターンシップ実施状況が報告され、その意義や運営方法について意見交換が行われました。ハローワーク担当者より地区の就職状況と、インターンシップを通して仕事の楽しさや大変さを知っておくことの大切さを話していただき、参加者は、高校生が仕事の魅力ややりがい、社会で働くことの大切さを学ぶ意義を再確認し、今後の取組の充実に向けて理解を深めました。



各校の取り組み状況の共有ができました

## 2 地域をつなぐ幼保小連携・接続研修会

○日時 6月11日（木）

○場所 大月市民会館

○研修会の目的…幼児期と小学校期の教育についての相互理解を深め、「**幼保小の架け橋プログラム**」の理解促進を図る

○内容

富士東部地域の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、特別支援学校の保育者・教員や行政関係者が参加して研修会が開かれました。

県幼児教育センターからは、架け橋プログラムに基づく5歳児カリキュラムやスタートカリキュラムの作成状況が報告され、理解促進や共有体制の強化が課題として示されました。実践報告では、都留市が設立した幼保小連携推進連絡会の取組を紹介。幼保小と行政が共通理解のもと組織体制を整えた成果が報告される一方、今後は実践への展開や担当者の異動後も継続できる仕組みづくりの必要性が挙げられました。

山梨大学の**大野歩**教授は、「**構えない相互参観による学び合いが大切**」と助言し、「幼児期は遊びを通した学びを十分に保障することが重要」と呼びかけました。情報交換会では、参加者がそれぞれの実践や課題について意見を交わし、連携の在り方を考える機会となりました。



約70名の参加者！



指導・助言の 大野 歩 先生



地区ごとに分かれての情報交換会

## 3 富士吉田市第1回幼保小連携担当者連絡会議

○日時 5月11日（月）15:30～16:30

○場所 南都留教育会館

富士吉田地区の保育園、幼稚園、こども園、小学校の教員らが集まり開催されました。会議では、今年度のテーマ決めのほか、グループごとに情報交換や課題の共有を行いました。参加者からは、「子どもの育ちや学びの様子を知ることができる大切な機会」「入学までに身に付けてほしい力について直接話し合える」といった声が聞かれ、子どもたちの円滑な就学に向けた連携の重要性を改めて確認する場となりました。

この会は講師を招いての研修やグループ討議など、年に4回開催されます。



園や学校との情報交換で新たな気づきも！！

## 4 第1回富士吉田地区小中高連携連絡会議

○日時 5月25日（月）

○場所 下吉田コミュニティセンター

富士吉田地区の小・中・高等学校、特別支援学校の校長（教頭）が参加し、第1回富士吉田地区小中高連携連絡会議が開催されました。会議では、これからの富士吉田市を担う**子どもたちの成長を系統的・継続的に支える**ことを目指し、年間活動計画の検討や意見交換が行われました。参加者は、スマートフォンやSNS等の利用に関わる課題への対応をはじめ、持続可能な連携体制の構築や、道路交通法改正を踏まえた交通安全指導について話し合いました。今ある資源や取組を生かしながら、子どもたちの健やかな成長を支える連携の充実に向けて理解を深める機会となりました。



異校種の先生との意見交換ができる貴重な時間

## 5 富士吉田地区小中高連携連絡会議 第1回養護教諭部会

○日時 6月2日（火）

○場所 南都留教育会館

富士吉田地区の小・中・高等学校、特別支援学校の養護教諭が集まり開催されました。会議では、中学校から高等学校への進学に伴う環境の変化により、不安や悩みを抱える子どもたちへの支援について理解を深めるとともに、情報交換を行いました。

グループ討議では、保健室経営の現状と課題、スマートフォンやSNSなどインターネット利用に関する課題について活発に意見を交わしました。参加者からは、「異なる校種の保健室の様子を知る貴重な機会となった」「子どもの様子を共有し、継続的な支援につなげることができた」との声が聞かれ、子どもたちを切れ目なく支える連携の大切さを確認する場となりました。



グループ討議の様子。異校種の取組に興味津々！

## 6 中高連携連絡会議

○日時 6月12日（金）

○場所 都留興譲館高校

都留市、西桂町、道志村の中学校・高等学校の校長が集まり、中高連携のさらなる充実に向けて意見交換を行いました。会議では、ものづくり教室や成果発表会などを通して互いに学びが深まるような連携や協力を継続していきたいとの声が聞かれました。また、生徒が安心して進路を選択できるよう、高校の理解を深める機会の充実や、少人数でも気軽に参加できる部活動の連携を進めてほしいとの意見も出され、地域の実情に応じた中高連携の在り方について話し合われました。次回の連携連絡会議は、今回あげられた課題に対するより具体的な解決策を探って行きたいと思います。



## 7 南北都留教育相談ネットワーク会議(第1回：講演会)

○日時 7月2日（木）

○場所 南都留合同庁舎

この会は相談事例に関する情報や認識の共有化を図り対応を支援し合ったり、研究・学習活動を通じてそれぞれの得意領域や専門性を学び合い活用し合ったりする目的で行われています。児童相談所や保健福祉事務所、教育委員会、支援学校などの関係機関で子どもや家庭への支援に携わる支援員らが参加し、教育講演会が行われました。

講師を務めた健康科学大学教授の瀧口綾先生は、「**子どもや家庭へ支援者として向き合う**」をテーマに講演。愛着理論について、愛着は子ども自身の問題ではなく人との関係性の中で育まれるものであり、形成には臨界期がなく、適切な関わりによって再形成も可能であることを説明しました。また、安心して過ごせる「安全基地」など愛着形成に必要な三つの基地機能についても紹介されました。さらに、愛着障害と発達障害の違いについて事例を交えながら分かりやすく解説。参加者は、子どもや家庭への理解と支援の在り方について学びを深めました。



講演会の様子



講師の 瀧口 綾 先生！分かりやすいお話

## 富士五湖青年会議所主催『第25回わんぱく相撲 富士五湖場所』

○日 時 5月10日(日)

○場 所 忍野村民体育館、忍野村国体記念土俵

○参加者 小学校1年生から6年生までの92名

「子どもたちに経験と体験を」という富士吉田青年会議所をはじめとする関係者の熱い思いにより、山梨県相撲連盟、谷村工業・都留興譲館高校相撲部OB、忍野中学校相撲部協力のもと開催されました。忍野村長は「勝ち負けだけでなく礼儀や感謝の気持ちも大切に」とあいさつされました。

試合前には忍野中学校相撲部員による準備運動や四股の指導が行われ、子どもたちは元気いっぱい土俵へ臨みました。1～5年生は体育館で予選リーグを行い、上位4名による決勝トーナメントおよび6年生の総当たり戦は隣接する本土表で行われ、貴重な経験ができました。また、お昼にはちゃんこが振る舞われ、みんなが大満足の日になりました。

○感 想

「初めての相撲でルールもよくわからないけど頑張りたい。」「勝ちたかったけど負けて悔しかった。」「家族が応援してくれてうれしかった。」



大勢の協力がありました



白熱した取組が繰り広げられました！



おいしいちゃんこでお腹も満足！



決勝は本土表で！



全力のぶつかり合い

## 都留青年会議所主催『第35回風の子興譲館 わんぱく相撲 つる場所』

○日 時 5月18日(日)

○場 所 谷村第一小学校体育館

○参加者 幼児から小学校6年生まで62名

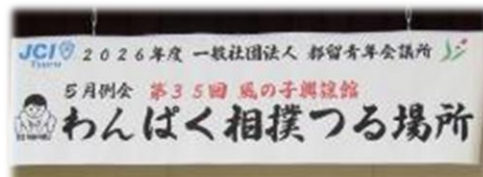
都留青年会議所が運営し、山梨県相撲連盟、谷村工業・都留興譲館高校相撲部OBの協力により行われました。試合の前には『すもうクイズ』が行われ、「大相撲でまく塩の量は何キロ？」「相撲の取り組みの後にすることは？」などの質問に元気に答えていました。

試合は幼児の部、小学生の各学年別にトーナメント方式で行われ、体の大きさに関係なく、子どもたちは力いっぱい取り組みました。試合の後は参加者にカレーが振る舞われ、大満足の日になりました。4年生以上の優勝者は、県大会に出場します。

○感 想

「前回負けて悔しかったから再チャレンジしました！家できょうだいと練習してきました。」

「自分より体の大きい人に勝ててうれしかった。」



会場の様子



体は小さくても勝負は真剣！



がんばれ、あと一步！



「勝っても負けても召し上がれ～」

# 明日の風 アスリート実技講習会

今後の予定 10月10日(土)・11月14日(土)  
2月6日(土)・3月6日(土)

## 第1回

○日時 4月29日(水・祝)

○場所 大月市民総合グラウンド

○参加者 北都留地区の小中学生41名

子どもたちは、走り高跳び・走り幅跳び・ジャベリックスロー・100m走・60mハードル・長距離走の中から2種目を選択して参加しました。主に富士東部地区の小学校の先生が講師となり、各種目の指導にあたってくださいました。体の動かし方や記録を伸ばすポイントなど分かりやすく的確な指導で、子どもたちは真剣に話を聞きながら取り組んでいました。最後は恒例の全員リレーが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

○参加者の感想

「一生懸命できた。楽しかった！」

「高跳びで90cm跳べたので、次は95cmを目指して頑張りたい。」(小学生)

「運動するだけでなく、こういう機会を通して他校の人とも仲良くしてほしい。」(指導者)



準備運動をしてからスタート



丁寧な個別指導も！



高跳びやハードルなど専門的な指導もバッチリ！



## 第2回

○日時 6月6日(土)

○場所 大月市民総合体育館

○参加者 北都留地区の小学生53名

今回は『桃太郎SC』との共催で行われ、6種目(立ち幅跳び・立ち5段跳び・メディシンボール投げ・走り高跳び・30mダッシュ・30mハードル)の記録会でした。全員ゼッケンをつけて真剣な表情に。記録会以外にもトランポリン&ミニトランポリンの体験と、メディシンボールをバトン代わりにした全員参加リレーが行われました。初めての種目に挑戦したり、大きな声で応援し合ったりする元気な姿が見られました。

○参加者の感想

「記録が伸びてよかった！」

「いろいろな種目に挑戦できて楽しかった！」

「うまくいかないこともあったけど頑張れた。」

「リレーはみんなで協力できた。」

学校以外でもこのような活動に参加できることは子どもたちにとって貴重な経験となり、運動への意欲や仲間との交流を深めるよい機会となりました。



足を高く上げてー



メディシンボールって重いよ…



びょーん、びょーん、びょーん



早く、早く～！

## 銘楽堂 presents 芸術鑑賞会

○日時 6月16日(火) ○場所 秋山小学校 体育館  
○対象 秋山保育所、秋山小中学校の児童生徒、保護者  
地域の方々、教職員

### 迫力の打楽器演奏に児童生徒が感動

6月16日、秋山小学校体育館で芸術鑑賞会が開催され、秋山保育所と秋山小中学校の児童生徒が参加しました。出演したのは打楽器アンサンブル「フラワービート」の山本晶子さん(あっこ先生)、小林真人さん(まーくん)、五味俊也さん(あみ〜ご)の3人。クラシックの「剣の舞」やディズニーメドレー、「ルパン三世のテーマ」など親しみやすい楽曲が演奏され、会場は大いに盛り上がりました。特に「剣の舞」では、マリンバを演奏するマレットの動きが見えないほどの速さに、児童たちから驚きの声が上がりました。鍋やしゃもじなどの道具からも音が生み出されることを知り、「こんなものまで楽器になるなんて!」と目を輝かせていました。また、カスタネットや鈴を使った参加型の演奏では、子どもたちがリズムに合わせて楽しそうに音を鳴らし、会場が一体感に包まれました。

参加した児童生徒からは、「演奏者の手の動きがすごかった。」「大きな音が体に響いて迫を感じた。」「生演奏を初めて近くで見て感動した。」「料理の道具も楽器になるとわかった。音楽がもっと好きになった。」「一緒に演奏できてうれしかった。」「鍵盤ハーモニカで弾く『花は咲く』は感動した。」などの感想が聞かれました。プロの演奏に直接触れたことで、音楽の魅力や表現の豊かさを実感する貴重な機会となりました。



左から五味さん、小林さん、山本さん



鍵盤ハーモニカもプロが演奏すれば...



鈴とカスタネットでみんな演奏者!



ボディパーカッションで大盛り上がり!

## 大月キリストの教会幼稚園「玉ねぎ屋さん」

『認定NPO法人 富士の緑とフードサポート』支援プロジェクト

### ～自分たちで育てた玉ねぎと集めた募金を届けよう～

○日 時 6月24日(水) ○場 所 大月キリストの教会幼稚園

2023年度、当時の年長児が「子どもの貧困問題」について知り、食料を必要としている人のために「自分たちが育てた玉ねぎを届けよう」と始めたフードサポート活動は、卒園時に託された思いとともに毎年受け継がれてきました。今年度の年長児もその思いを受け継ぎ、「フードサポートへ玉ねぎを届けよう」と話し合いを重ねる中で、「玉ねぎを保護者の方に買ってもらい、そのお金も届けたい。」と新たな取組を考えました。

子どもたちは昨年9月に玉ねぎの種まきを行い、観察や世話が続けながら大切に育ててきました。寒い冬を乗り越え、5月には948個の玉ねぎを収穫。6月24日に『たまねぎ屋さん』を開き、保護者の皆様の温かいご協力により売上金と募金合わせて24,000円が集まりました。

集まった募金と270個の玉ねぎを「認定NPO法人 富士の緑とフードサポート」へ寄付。この活動を通して、子どもたちは自分たちの行動が誰かの力になることを実感し、大きな喜びを味わうことができました。相手を思いやる心と、自分にも社会の役に立てることがあるという気持ちを育む貴重な経験となりました。



いらっしゃいませ～! いらっしゃいませ～!



300円お願いしまーす



募金お願いします～す!



準備も自分たちで



7月3日にフードサポートに届けました

## シオジ森の学校 探鳥会&枝打ち体験

### 5月16日（土）鳥のさえずりを聞こう

小金沢シオジの森と大峠周辺で探鳥会が開かれました。参加者は野鳥の鳴き声を予習した後、『野鳥ビンゴカード』を手に森へ出発。オオルリやヒガラ、ミソサザイなどのさえずりに耳を澄ませながら観察を楽しみました。鳴き声は聞こえても姿がなかなか見つからない鳥も多く、参加者は真剣に森の中を探していました。野鳥探しが得意な“ちびっ子先生”の活躍もあり、和やかで楽しい雰囲気に包まれました。参加者からは「いっぱい見つけれられてよかった。」「いろんな鳥の鳴き声を聞いて勉強になった。」「山道は大変だったけれど、鳥のさえずりを聞いてよかった。」といった声が聞かれ、天気にも恵まれて、自然とのふれあいを満喫した一日となりました。



あっちの方から聞こえるな…



あ〜いたいた！



天気も最高でした

### 6月13日（土）森を育てよう〔枝打ち体験〕

富士・東部林務環境事務所県有林課の大森さん、泉川さんを講師に迎え、旧桑西テニス場付近の県有林で枝打ち作業を体験しました。参加者は、枝打ちには「無節材の生産」「林内の光環境の調節」「病害虫の回避」などの役割があり、森をきれいに保つためには人の手入れが欠かせないことを学んでから実践。森林整備の大切さを体感しながら、自然への理解を深める貴重な機会となりました。



これくらいの高さまで…



のこぎり 難しい〜

## 富士山噴火を想定した

## 河口湖南中学校区 保小中合同引渡訓練

○日 時 6月19日（金） ○場 所 河口湖南中学校

河口湖南中学校区の保育所・小学校・中学校において、富士山の火山活動が警戒レベル3に引き上げられたことを想定した引き渡し訓練が実施されました。

訓練は、富士河口湖町防災アプリによる連絡体制の確認をはじめ、保護者への子どもの引き渡し方法や避難行動を検証することを目的に行われ、富士河口湖町や富士山科学研究所の協力のもと行われました。昨年度は小・中学校のみでしたが、今年度は保育所も参加し、より実践的な訓練となりました。保護者は自宅や勤務先から道路の渋滞や通行状況を想定しながら迎えに向かい、学校側は確実に子どもを引き渡す手順や迎えに来た保護者の動線について検証しました。当日は保護者が職場から迎えに向かう人も多いため、勤務先の理解や協力がありました。また、交通安全協会の方々により道路での交通誘導も行われました。

富士山の噴火はいつ発生するか予測できないことから、こうした訓練を繰り返し行い、万が一の際に落ち着いて行動できるよう備えておくことが重要です。学校では今回の訓練結果を振り返り、よりスムーズな引き渡しにつながるよう改善点などを整理していく予定です。なお、5月には河口湖北中や勝山中学校区でも同様の訓練が実施されました。

### ○保護者の感想

「本番を想定して職場から徒歩で迎えに来ました。実際に歩いてみる良い機会になりました。」「職場から車で20分ほど。大変でしたが、このような訓練をしておくことは大切だと思います。」



まずは生徒数の確認と打合せ



教室の前で『引渡カード』にサインして確実に引き渡し



小学生の妹と一緒に



保護者の車の流れもスムーズでした！